

森林のたより

Karst
correspondence
2003.1
vol.7



年頭のあいさつ



代表理事 組合長 伯野 真知人

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。組合員の皆様には、思いを新たに希望に満ちた2003年の輝かしい新年を迎え、心よりお喜び申し上げます。さて依然として厳しい林業の現状は戦後の復興で、住宅の需要に応じる為、木材需要が急増して、昭和30年代には、木材生産が盛んに行われてきました。一方木材の輸入が、昭和36年から段階的に自由化されて、現在では、外材輸入量が80%を占める様になり、木材価格は、昭和55年をピークに年毎に下落し、今ではピーク時のヒノキが30%、スギが40%まで下がって参りました。そして国民が森林に期待する役割の順位が大きく変つて、木材が1番高かつた昭和55年には、木材生産が2番目であったものが、現在では1番目が災害の防止2番目が水資源のかん養で、木材生産が9番目まで順位が下がつて参りました。今回の改正された国民の森林に対する二、三の変化にともない、国も政策転換することになりました。今までの林業基本法を、森林林業基本法として法律の一部を改正したところであります。今回改正された「森林整備地域活動支援金制度」として、新たに制度として「森林整備地域活動支援金制度」ができました。

森林づくりを支える

交付金

（森林整備地域活動支援交付金制度）

スタート！

森林組合の取り組み



団共担当

この制度は、林業の採算性の悪化、高齢化、不在村化等により、森林施設が十分に行われない森林が増加している。このままでは、皆さんのが心をこめて植え、育てた山がダメになり、森林のもつ大切な働きも十分発揮できなくなります。

そこで森林の現況調査、施業実施手入れを進めるために欠かせない活動を交付金により支援する制度です。

（三）森林施業計画の作成。
（四）森林の現況調査等の対象行為
（五）交付金の申請手続・配分
を行い、この交付金制度を有効に利用し組合員の皆さんの山を少しでも価値あるものにしていただきたい。

事業実施期間
平成14年度から平成18年度までの
5ヵ年間

この制度は、平成14年度から平成18年度までの5ヵ年計画で、組合はこの制度に積極的に取り組んで、受託事業を推進しますので、ご利用頂きますようお願いいたします。森林組合の平成13年度決算状況は、総売上4億9千万円を上げる事ができました。事業面で特に利用部門の緑化整備、治山事業の延びで增收となり、組合員からの受託事業も1億2千万円の利用がありました。

このような事業が遂行できた事は、関係機関をはじめ、組合員各位のご支援ご協力の賜で、このような成果を納める事ができました。この事について、深く感謝申し上げる次第であります。

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様には、日頃から森林・林業行政の推進につきまして、ご支援、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて最近の社会・経済情勢は、景気回復の兆しも見えない厳しい状況が続いておりますが、林業関係も、木材価格の下落等、もろに影響を受けておるところです。

一方では、21世紀は「環境の世紀」といわれており、水源かん養や土砂流出



森林部長 内田 征夫
美祢農林事務所

に始まり、森林整備地域活動支援交付金制度を契機に意欲ある森林所有者から受託事業を促進して、事業の拡大に努めて参ります。その為の地区座談会の開催や組合広報紙「森林のたより」を送付して、業務の内容を周知して参ります。組合は組合員との信頼と協力関係をさらに強化する様、努力して決意を新たに組合員の期待に応えるため、役職員一丸となつて、林業の振興に努めて参ります。

年頭に当たり皆様方のご健勝ご多幸をお祈り申し上げ新年のご挨拶といたします。年頭に当たり皆様方のご挨拶といたします。

防止、さらには地球温暖化防止機能等、多様な機能を有している森林に対し、その期待は、ますます高まっています。しかし人工林を中心とした森林資源は衰退して、森林への関心が薄くなつてしましました。しかしながら、森林整備の現状は、い放置森林が多く見かけるようになり、このまま推移すれば森林の公益的機能の発揮にも支障をきたすことが懸念される状況にあることからこの制度ができました。

これは意欲ある森林所有者が、新たに30ヘクタール以上の団地施設計画を立て、認定を受けた処で、その森林の35年生以下の人工林については、ヘクタール当たり一万円の交付金がもらえる制度です。この制度は、平成14年度から平成18年度までの5ヵ年計画で、組合はこの制度に積極的に取り組んで、受託事業を推進しますので、ご利用頂きますようお願いいたします。

森林組合の平成13年度決算状況は、総売上4億9千万円を上げる事ができました。事業面で特に利用部門の緑化整備、治山事業の延びで增收となり、組合員からの受託事業も1億2千万円の利用がありました。

このように事業が遂行できた事は、関係機関をはじめ、組合員各位のご支援ご協力の賜で、このような成果を納める事ができました。この事について、深く感謝申し上げる次第であります。

組合員の皆様には、日頃から森林・林業行政の推進につきまして、ご支援、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて最近の社会・経済情勢は、景気回復の兆しも見えない厳しい状況が続いておりますが、林業関係も、木材価格の下落等、もろに影響を受けておるところです。

一方では、21世紀は「環境の世紀」といわれており、水源かん養や土砂流出

この交付金制度については、9月10日より、地区座談会として美東町、秋芳町、美祢市の順で、まず北部より説明し、組合員の皆様にご理解を求める事であります。そこで、当組合としては、（一）森林組合と森林所有者が施業委託契約を結ぶ。

（二）30ヘクタール以上の団地的まとまりの森林所有者のとりまとめ。



団共担当

平成14年度 森林整備地域活動支援交付金制度の取組数（公社はのぞく）

	美祢	美東	秋芳	楠	計
団地数	5	4	4	1	14
団地面積(ha)	254.92	156.16	161.78	35.88	608.74
森林所有者数	61	47	42	4	154
積算基礎森林(ha) (人工林35年以下等)	138.19	89.58	131.05	33.08	391.90

美秋材等良質材品評会

この品評会は、昭和四十九年に良質柱材の产地化を目標に美秋材業圏(美祢市・美祢郡地域)が設定され良質柱材生産育林技術指針に基づき、枝打ち、間伐等を繰り返し育林施業に取り組んできた柱材を平成元年より技術検討会、平成四年から良質品評会を開始し開催している。更に育林技術の向上及び生産意欲の高揚を図り、ヒノキの「柱材」にして出品、製品としての評価を競い良質柱材としての美秋材のPRをしていく。

主催 美秋材業推進協議会
共催 山口県美祢農林事務所
協賛 山口県林業協会山口支部

後援 秋芳町
カルスト森林組合
秋芳町林業経営研究会
美祢地区林業士会
山口流域林業活性化センター
美祢地区林業研究グループ連絡協議会



【林家訪問】…シリーズ5



五嶋 義一さん
(83才)

美祢郡秋芳町大字嘉万栢生
年月日 大正八年一月二十五日生
森林所有地 人工材約五・五ヘクタール
天然林約〇・五ヘクタール
資格、育林技術士A級 昭和五九年取得

柱材品評会成績
平成 五年度 努力賞
平成 七年度 優秀賞
平成 十年度 努力賞
平成 十一年度 最優秀賞
平成 十三年度 努力賞
平成 十四年度 努力賞

五嶋さんは、右のとおり秋芳町嘉万で五嶋家の四男として生まれ育ち、戦争も体験、昭和二十三年に独立分家され、現在に至る。山村で育つたせいで山には興味があり、分家の後多少の山を取れました。そんな折、ある林業雑誌に「京都北山では、雪の降った日は朝早く、提灯をさげて山に入り、木についた雪

を語る五嶋さんは、わが子を語り、わが子の成長を見守るような目であった。



人事異動

平成十四年度カルスト森林組合協力事業体班員研修会を長門市(大谷山荘)で協力事業体23班104人の参加をもつておこなった。
防府市の吉岡総合事務所代表の吉岡敬祐先生の「元気をだそう日本人」の講演を聞き、現在、林業関係が非常に落ち込んでいる中、何とか元気を取りもどし林業が「業」としてやつていけるよう頑張れカルスト森林組合である。
今、事業体の人員構成は、中高年が主であるので「若さを保つ、元気を出す、ボケを封じる」この三つに注意し仕事に精を出し、又、組合員の皆様からの要望に応えていける職員、協力事業体とならなければいけない。



協力事業体研修

平成十四年度カルスト森林組合協力事業体班員研修会を長門市(大谷山荘)で協力事業体23班104人の参加をもつておこなった。

防府市の吉岡総合事務所代表の吉岡敬祐先生の「元気をだそう日本人」の講演を聞き、現在、林業関係が非常に落ち込んでいる中、何とか元気を取りもどし林業が「業」としてやつていけるよう頑張れカルスト森林組合である。

今、事業体の人員構成は、中高年が主であるので「若さを保つ、元気を出す、ボケを封じる」この三つに注意し仕事に精を出し、又、組合員の皆様からの要望に応えていける職員、協力事業体とならなければいけない。

阿東町森林組合木材加工場長の山本秀生、周南森林組合技師の藤井年克、美祢農林事務所森林活用課長の山田詳生、カルスト森林組合の谷村常務による、厳正な審査が行われた。

77組154本で今年の出品組数は



	受賞者 氏名	市町村	林齢	原木		製品	
				末口	材積	寸法	等級
最優秀賞	倉増 清勝	美東町	36	20	0.120	12.0	2無1上 32.5
			36	20	0.120	12.0	2無1上 35.5
優秀賞	田中 ハマ子	美祢市	37	18	0.097	12.0	1無1上1小 36.0
			37	17	0.087	12.0	2無1上 36.5
優秀賞	山相 久利	美祢市	48	18	0.097	12.0	1無1上1小 45.5
			37	20	0.120	12.0	1無1上 36.0
優秀賞	池田 俊広	美祢市	50	19	0.108	12.0	3無 37.0
			50	19	0.108	12.0	3上 47.5
優秀賞	倉増 和弘	美東町	35	19	0.108	12.0	1無2上 44.0
			35	22	0.145	12.0	2上1小 34.0
努力賞	坪井 和登	秋芳町	30	21	0.132	12.0	1上1小 35.5
			30	22	0.145	12.0	1無1上 35.0
努力賞	高橋 博嗣	美祢市	45	18	0.097	12.0	1無1上1小 39.5
			45	19	0.108	12.0	1小 33.5
努力賞	藤岡 和文	美祢市	36	19	0.108	12.0	1無1小 37.0
			36	18	0.097	12.0	1上 40.0
努力賞	倉増 幸雄	美東町	37	20	0.120	12.0	1無2上 42.0
			37	21	0.132	12.0	1小 42.5
努力賞	藤井 明男	美東町	37	21	0.132	12.0	2上1小 42.0
			37	21	0.132	12.0	1小 45.0
努力賞	貞永 貴美子	美東町	45	22	0.145	12.0	1無1小 29.5
			45	20	0.120	12.0	2無1上 43.5
努力賞	五嶋 義一	秋芳町	38	20	0.120	12.0	2無1小 36.5
			38	20	0.120	12.0	1無1小 59.0
努力賞	飯田 晓生	秋芳町	40	23	0.159	12.0	2上 33.0
			40	20	0.120	12.0	1上1小 33.5
努力賞	渡辺 敏男	秋芳町	38	20	0.120	12.0	3無 53.0
			38	20	0.120	12.0	3上 37.0
努力賞	田邊 厚實	楠町	40	20	0.120	12.0	1無2上 34.5
			40	18	0.097	12.0	1小 29.0
努力賞	井上 洋昭	宇部市	43	24	0.173	12.0	1上2小 36.5
			43	24	0.173	12.0	2上1小 32.0

協力事業体紹介 上利班（秋芳町）

上利班は朝、班長宅に集合し揃って目的の山へ人員輸送車で向う。

行く道程によるが車内、又は着いて、その日の、工程の説明が班長より有り仕事に取り掛かる。取材に行った時は、やまぐち森と緑の公社の枝打作業中であった。

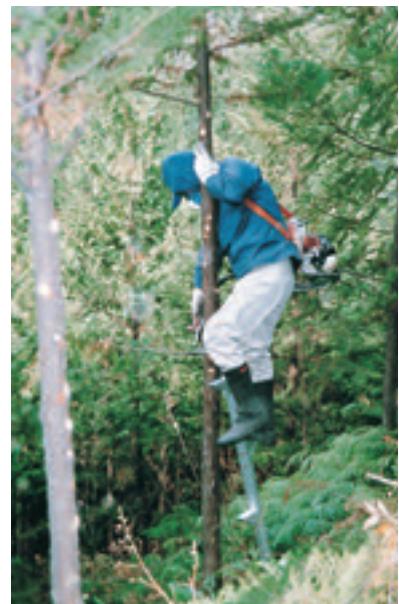
この班には、班長をはじめ3人のA級育林技術認定者と10年以上にわたり組合の林業作業に携わった人達で仕事も手際よく効率が上がっていた。上利班は、30年も前に上利武文さんのお父さんの保人さんが班長で結成され、秋芳町森林組合の作業班として活躍されていた。

お父さんが亡くなられ勤人であった武文さんが帰られて班長を務められ現在に至っている。

武文さんは意欲的に林業の事を勉

上利班

班長 上利 武文
班員 上利 和馬
長尾 賢一
配川 義明
上利ミサ子
杉山フサエ
木内 郁枝



表紙の写真



美祢市内にある彦山竹林公園である。ここには竹の種類が約50種あり、昨年美祢市の篤志家が市に寄贈され、市が整備を行い、いまでは市民のいこいの場となっている。散歩がてらに竹林を見ながら登って行くと頂上には阿屋「竹風亭」があり、美祢市内を一望できる眺めの良い場所である。

県森連豊田共販所木材市況

(1月10日)

樹種	長さ	径級	中値	高値
スギ	3m	14~16	15,500	
		18~22	15,700	
		24上	12,000	
	4m	13~16	12,600	カシ
		18~22	18,100	5.4×34
		24~28	13,500	63,100
ヒノキ	3m	14~16	25,400	4.3×34
		18~22	26,300	60,100
		24~28	18,000	2.0×40
	4m	11~12	10,100	
		13~16	28,500	
		18~22	27,100	
マツ	2m	18~30		
	3m	14~16	曲 9,000	
		18~22		
	4m	14~16	曲 9,000	
		18~22		
		24~28		

昨秋は、例年になく早く寒くなり、山の紅葉も一段と美しい秋を迎えた木々も冬じたくを早々とした。

昨年は「森林、林業基本法」が制定され、その内容は木材生産のみならず、水源かん養、災害防止、環境保全、レクレーションなど、森林の多様な価値観を尊重する法に変わり森林組合としては厳しい法則に生まれ変わったといえます。

編集後記

2003.1
vol.7

カルスト森林組合

〒759-2212 山口県美祢市大嶺町東分418番1
TEL0837-52-3332 FAX0837-52-2587

本誌は再生紙を使用しています。